

原子力事故再発防止顧問会議 第1回会合(2011年10月4日) 飯田哲也提出資料

1. 名称:
 - ・ 正名論から「規制」の必要性
2. 3・11という原点から
 - ・ 無策・無能・無責任だった現実
 - ・ 「人々の安全」より「混乱防止」の重視
3. 人
 - ・ 制度としての人事論の重要性
 - ・ 固有名詞での人事の重要性
4. 組織
 - ・ 「原子カムラ」の組織文化を脱す: 推進でも反対でもなく人々の安全
 - ・ 独立性と緊張感のある組織
 - ・ しかし同時に、オープンかつ透明で、国民から信頼されること
5. 実質性・リアリティ
 - ・ 安全性をリアルかつ実質的に高める

原子力安全神話の実像

平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震について

平成 23 年 3 月 11 日 (22:35) 現在
緊急災害対策本部

20:30 1、2、3号機、中操照明確保準備中、M/C水没
2号機については、優先的に電源車つなぎこみ作業待ち
21:00 D/D消化ポンプを起動し、炉圧が低下したら注入できる体制を執っている。

【東京電力福島第一原発 緊急対策室情報】

○2号機のTAF(有効燃料頂部)到達予想、21時40分頃と評価。

炉心損傷開始予想: 22時20分頃

RPV(原子炉圧力容器)破損予想: 23時50分頃

○1号機は評価中